

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年度の地方交付税、19兆円 7年連続増

・政府は2025年度の地方交付税の総額を24年度より3000億円多い19兆円にすると決めた。前年度を上回るのは7年連続。地方公務員の給与引き上げや物価高などによる自治体の歳出増に対応する。25年度の与党税制改正大綱に明記された「103万円の壁」引き上げに伴う交付税の減収影響は2000億円との見通しを示す。

◆税収増で国債発行30兆円割れ 17年ぶり、歳出改革道半ば

・政府の2025年度予算案で新規の国債発行額は28.6兆円程度となる見通し。当初予算ベースで4年連続で前年を下回り、17年ぶりに30兆円を下回る低水準となった。税収が過去最高の78.4兆円に増えるため。一般会計総額は社会保障関係費を中心に抑制が利かず、歳出改革はなお道半ば。

◆25年度の需給ギャップ0.4%、7年ぶりプラス 内閣府試算

・内閣府は経済財政諮問会議で政府経済見通しに基づく需給ギャップや賃金上昇率の試算を示した。2025年度の実質成長率が1.2%となった場合、日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップは0.4%と7年ぶりにプラスに転じる。18年度まで4年連続でプラスだったが世界経済の減速や消費増税があった19年度にマイナスに。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆積水化学、「曲がる太陽電池」量産 政投銀と新会社

・積水化学工業は薄くて曲げられる次世代の太陽電池「ペロブスカイト型」の量産を2027年に始めると発表。日本政策投資銀行と共同で新会社積水ソーラーフィルムを設立、27年には10万キロワット、30年までに年100万キロワット級を生産できるようにする。30年までに総経費3000億円超の半分を政府の補助金で賄う。

◆国内建設受注額11月11%減 大型案件振るわず

・日本建設業連合会が発表した2024年11月の国内建設受注額は、前年同月比11%減の1兆1160億円。2カ月ぶりにマイナスに転じた。民間と官公庁ともに大型案件が少なかった。民間は12%減の8934億円で、そのうち非製造業は13%減の7073億円。不動産業からは再開発事業やマンションの受注があるも金額は14%減。

◆11月住宅展示場来場者、4エリアで対前年同月比増

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団が公表した11月の住宅展示場来場者組数は、前年同月比2.0%減の24万2491組。4エリアが前年比プラスとなり、うち3エリアは2ケタ増。今期来場者の累計は210万8497組となり、前年から2.7%の減少。北海道(22.3%増)と信越・北陸(59.7%増)は先月に引き続き増加。

《 注目商品 》

■パナソニック コネクト、ノートパソコン「TOUGHBOOK」CF-33シリーズの新モデル

・屋外や過酷な現場に適した頑丈ノートパソコン「TOUGHBOOK(タフブック)」CF-33シリーズの新モデルを、国内法人向けに1月から発売。画面比率3:2の12.0型液晶を搭載しており、一般的な16:9の液晶と比べて縦方向が広く、より多くの情報を表示できる。



■アイリスオーヤマ、DX清掃ロボット「BROIT(ブロイト)」

・商業施設やオフィスビル、医療施設などに順次導入。水拭き清掃ができる自律走行型ロボットで、セラミックタイルやビニル床などの床材や汚れに合わせて3つの清掃モードで切り替えができ、モップ清掃や自動床洗浄機による作業員の負担を軽減。



■リンナイ、食洗機の食器カゴを改良 フロントオープン食洗機

・収納性に優れたフロントオープンタイプのビルトイン食器洗い乾燥機をモデルチェンジ。食器の入れやすさにこだわり、食器を支えるツメや小物入れなどを改良。新たに「夜エコ」コースを搭載、ゆっくりと洗浄乾燥することで、一回当たりの光熱費を抑えることができる。

